

三井住友海上火災保険株式会社

広報部 〒101-8011 東京都千代田区神田駿河台 3-9

TEL: 03-3259-3111(代表)

www.ms-ins.com

2021年3月22日

Synamonとの協業による VRを活用した自動車損害調査研修メニューの開発について

MS&ADインシュアランスグループの三井住友海上火災保険株式会社（社長：原 典之）は、今般、VR※を活用した自動車損害調査の研修メニューを株式会社Synamon（代表取締役：武樋 恒）と共同開発し、2021年度から実用化を開始します。

本研修メニューの開発により、実際の経験を積むことが重要とされる自動車損害調査業務を仮想空間上で疑似体験することができます。新型コロナウイルス感染拡大により、人の移動が制限され、非接触の需要が高まる中、遠隔でもリアルと同等以上に学習効果の高い研修を実現します。

三井住友海上は、今後も、お客さまの心に寄り添った事故対応サービスの提供に取り組んでいきます。

※VRは、Virtual Reality（仮想現実）の略で、コンピュータによってつくられた仮想的な世界を、あたかも現実世界のように体感できる技術を言います。

1. 背景

新型コロナウイルス感染拡大により、従来型の対面集合研修の開催が難しく、感染リスク軽減のため、自宅や職場にしながら受講できるWeb会議システム等を活用したオンライン研修が注目されています。一方、実際の経験を積むことが重要とされるスキル習得型の研修においては、オンライン形式で熟練者のもつスキルやノウハウの習得等を期待することが難しいといった課題がありました。

こうした課題を解決すべく、当社は、Synamonが提供するVRビジネス施設「NEUTRANS」を活用し、オンラインでもリアルと同等以上に学習効果の高い研修メニューを開発しました。

2. VR研修の概要

2021年度から、SynamonのVR技術を活用し、バーチャル空間上で、自動車損害調査の研修を実施します。研修参加者は職場や自宅でVR端末を着用し、アバターとなって事故車が設置されたバーチャル研修所に集合します。実際の研修所にいるような感覚を疑似体験でき、遠隔でも熟練者の動きや手順などのスキル習得が可能となります。

<研修風景のイメージ>

画像や動画を用いての学習	アバター姿での議論
	
メジャーを用いての測量	損傷箇所の撮影
	

3. 期待される効果

(1) 集合研修と同等以上の学習効果

VRは高い没入感を創出できるため、参加者間でアバター姿で身振り手振りを交えての議論や、ホワイトボードや付箋をバーチャル空間で使ったアイデア出しなど、緊密なコミュニケーションが可能です。また、仮想空間に配置された自動車のドアやボンネットの開閉、メジャーを用いた測量等の操作もでき、従来の集合研修と同等以上の学習効果が期待できます。

(2) 研修時の移動時間やコストを削減

研修場所を仮想空間上に設けるVR研修では、集合研修時のような移動が発生せず、時間短縮につながるほか、交通費や宿泊費等もかかりません。

(3) 3密回避で感染リスクを軽減

コロナ禍で集合研修の開催が困難な中、研修参加者は、3密を回避して各職場・自宅からリモートで参加できるため、感染リスクを心配することなく研修に臨むことができます。

4. 今後の展開

2021年4月から、VRを活用した自動車損害調査の研修を開始し、2021年7月以降、自然災害の損害調査研修にも活用する予定です。

(ご参考)

■株式会社Synamon

Synamonは「XRが当たり前の世界」を実現するため、VR／ARをはじめとするXR技術を使ったサービス開発や研究開発を行うテックカンパニーです。

自社開発しているVRイノベーションタワー「NEUTRANS」は、VR技術の活用によって、バーチャル空間であらゆるビジネス活動を可能にするVRビジネス施設です。世界中どこからでも働けるオフィス、リモートでもリアルのような体験を可能にするトレーニングや開発予定の未来都市を見学できるプロモーションなど、バーチャル空間を活用した次世代事業の創出拠点を目指します。

会社名	株式会社Synamon
設立日	2016年8月
本社所在地	東京都品川区西五反田7丁目22-17
代表者	武樋 恒
事業内容	VR／AR／MRプロダクトの企画・開発、XR技術の研究開発

以 上